

英国発化粧品会社ラッシュ

環境および社会の再生を目的にしたプロジェクトに総額20万ポンドの賞金を授与 「Lush Spring Prize 2018」における11プロジェクトの受賞決定

環境および社会の再生に向けて活動する世界中の取り組みを讃え、賞金を授与する「Lush Spring Prize (ラッシュ・スプリング・プライズ)」では、2018年5月16日(水)、ブラジルやインドなどから応募された11のプロジェクトが第2回目にあたる「Lush Spring Prize 2018」の受賞として選出され、賞金総額20万ポンド(約2,800万円)が授与されました。最終選考に選ばれた合計29カ国53のプロジェクトの中から厳正なる審査の後受賞した11プロジェクトは、この賞金をもって各取り組みを推進していきます。(1ポンド=140円)



大西洋岸ニカラグア公正と人権センターで、
地域社会の女性と指導者が議論している様子

Lush Spring Prizeとは

「Lush Spring Prize」は、英国を拠点とし、世界49カ国で展開する化粧品ブランドLUSH(ラッシュ)と、英国の消費者団体であるエシカルコンシューマー・リサーチアソシエーション(Ethical Consumer Research Association、以下エシカルコンシューマー)が昨年2017年に新たに設立した基金であり、環境や社会の再生に貢献した世界各地のプロジェクトを支援することを目的としています。

私たちが豊かな生活を送れるかは、地球上の自然と社会システムの相互関係に依存しています。人、動物、地球環境の健全なる共存を実現するためには、相互的に利益をもたらす環境を創っていくことが必要です。これを実現するために、ラッシュはLush Spring Prizeを実施し、「サステナビリティ(持続可能)」の考え方を超え、持続しながらも新たなものを創出する「リジェネレーション(再生)」を推進するプロジェクトを支援しています。

Lush Spring Prizeに関連する各種アーティクルは以下のリンクからご覧いただけます。

<https://jn.lush.com/tag/spring-prize>

Lush Spring Prizeの公式サイトは以下のリンクからご覧いただけます。(現状日本語対応なし)

<https://jn.lush.com/tag/spring-prize>

受賞者リスト

Lush Spring Prize 2018の受賞者の概要は以下の通りです。

Intentional Projects賞（賞金各1万ポンド/約140万円）

画期的なアイデアを用いた、開始1年未満の初期段階プロジェクト対象に、1万ポンド(約140万円)を最大5つのプロジェクトへ授与。賞金は、同様のプロジェクトで、より段階が進んだ事例を学ぶための研修や訪問のための交通費などに使っていただけます。

カテゴリー	受賞プロジェクト	国
Intentional Projects 賞	<p><u>Jewels in the Desert (砂漠の宝石)</u></p> <p>過去43年間、サハラウィ人はサハラ砂漠にある5つの「一時的」キャンプへの居住を強制されてきた。サハラウィ人の数は現在、約10万人に及ぶと言われている。</p> <p>訪問時、サープラスパーマカルチャーのデザイン(設計)チームは、いくつもの自力での個人事業に感銘を受けた。総合的デザインや全体思考、リジェネレーティブな事業運営に加え、継続的マイクロ融資などのトレーニングを通して、本団体は既存の廃棄システムやクローズドループを底上げするような事業創設をサポートし、地域経済に刺激を与えながら、共に成長する手助けをしている。事業育成者は、環境リジェネレーション、食の主権、若者のエンパワメント、経済的自立、キャパシティビルディングなど、サステナブルな未来に向かって全てを促進している。</p>	アルジェリア ベルギー
Intentional Projects 賞	<p><u>Agentes Agroflorestais Quilombolas (キロンボラス アグロフォレストリー エージェント)</u></p> <p>本プロジェクトは、セント・ロサ・ドス・プレトスのキロンボラ領地、イガラパシマウマにおいて、原生木の植林を通じ、シラリー林(水に境界を作る植物)の再生を目的に活動を行っている。また、キロンボの生活最低限の農家たちと共に、アグロフォレストリーの仕組みを開発することも、もう一つの目的である。採掘会社の到来と、本地域の作物生産エリアの減少の結果、森林破壊や河川の沈泥、水資源の欠乏など深刻な問題が出てきた。コミュニティ内での話し合いから、キロンボラス アグロフォレストリー エージェントが2017年6月5日に、20名のキロンボラスの若者によって発足された。</p>	ブラジル
Intentional Projects 賞	<p><u>Guaracy (グアラシー)</u></p> <p>グアラシーは、農業と地方の若者のエンパワメントに取り組む団体。栄養共生農業(森林で自然に起こる植生のように植え付けをする)サステナブルな食糧生産に焦点を置いている。生産者とオーガニック市場をつなぎ、地方農業界の新世代である若者に、社会経済チャンスを提供している。グアラシーの事業計画は、コンサルタントサービスから、都市農業やアグロエコロジーのトレンドを強化するための短期コース提供などに渡り、健全な食糧生産へとつながっている。団体はエコツーリズムやアグロツーリズムを推奨。尊厳を持った生活を送る希望の種を蒔き、土地を持たない人々が直面する、貧困や障害を乗り越える支援を行なっている。</p>	ブラジル
Intentional Projects 賞	<p><u>Terrena (テレーナ)</u></p> <p>小規模オーガニック農業の草の根団体の一員として、テレーナの創立者はボリビアでは有機種子が手に入らないことに気づいた。種子の保護という伝統が徐々に失われつつあることから、コミュニティ種子バンクが始まった。</p> <p>テレーナは種子を集め、洗浄・保管し、交換することで農家コミュニティが手に入れられるようにしている。生産者が高品質の有機種子を手に入れられるよう、有機種子サプライヤーや、より組織だち専門的な種子の保護の必要性を見出した。3つの農家と共に試験運用を始めており、9つの異なる有機野菜の種子を生産するため、3つの小さな種子農園を設立。試験運用をしながら、ボリビアの有機種子保護協同組合に必要な技術やマネジメントスキルを、生産者にトレーニングする仕組みも作っている。</p>	ボリビア

Young Projects賞（賞金各2万ポンド / 約280万円）

しっかりした実績のある開始1～5年のプロジェクトを対象に、2万ポンド（約280万円）を最大3つのプロジェクトへ授与。賞金はプロジェクトの更なる発展のために使っていただけます。

カテゴリー	受賞プロジェクト	国
Young Projects 賞	<p>Agroecopolis(アグロエコポリス) 2017年2月に設立された草の根NGO団体のアグロエコポリスは、食の主権、土地を利用する権利やアグロエコロジーの活用を目的に取り組むギリシャ初の団体。さまざまな人と何年にも渡るコラボレーションがあつてこそ実現できている。活動内容は: アグロエコロジー活動家のネットワークの構築、スキルを共有し合うサポートを行い、CAWE,FIAN,TNIとともに研究プロジェクトに参加し、実用的にギリシャの土地を活用するプロジェクトの確立などを含む。例えば、輸出業の連帯を支援し、シトラス果実やオリーブ油がヨーロッパの食品インシアチブの輸出を手助けしている。ギリシャでアグロエコロジーを活用する小規模農家をサポートすることに役立っている。アグロエコポリスは、現在ギリシャの組合であるCSAを確立するために取り組んでいる。将来に向けて、アグロエコロジーのトレーニングセンターの設立やパーマカルチャーキャラバンを復活させることを目的に活動中。</p>	ギリシャ
Young Projects 賞	<p>Malawi Schools Permaculture Clubs(マラウイスクールパーマカルチャークラブ) 本団体MSPCIは、北マラウイの田舎町にて小学校を教える先生のエンパワーメントに向けて活動を行い、生徒が放課後に参加できるパーマカルチャークラブを作っている。生徒一人ひとりがそれぞれのパーマカルチャープロットに取り組み、全員が協力して学校のデザイン(設計)に作ったプロットを組み込んでいく。設立から3年目が経ったMSPCIは、現在9つの学校、300名の生徒とともに活動をしていて、彼らの活動に興味のある学校は後を絶たない。Mkondezi小学校でトライアルとしてクラブの活動をはじめ、それが成功したことによって、MSPCIの活動は2015年に本格的にスタート。活動開始から1年目、他の小学校で教える先生がパーマカルチャークラブを提供できるようにする、4つの重要な要素が明確になった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教師のためのパーマカルチャートレーニング & ファシリテーションスキル 2. シラバス(授業概要) & 詳細な教育資料 3. インフラストラクチャーのサポート 4. 学校 & 生徒の自己選択 <p>MSPCIはこれらの4つの要素を提供できるように設立されたため、Mkondeziでの活動がマラウイに渡り広めることを可能にしていった。</p>	マラウイ イギリス
Young Projects 賞	<p>International Permaculture Education Network(国際パーマカルチャー教育ネットワーク) IPEN(国際パーマカルチャー教育ネットワーク)は、世界中で活躍する経験豊富なパーマカルチャーの教育者が、パーマカルチャー教育には次となる大きなステップに進む必要があるというニーズに気づき始めたことで、2015年に活動をスタートした団体。 パーマカルチャー教育者は今後、お互いに深く関わり合いながらコラボレーションをし、団結しなければいけないと気づいた。スティーブとラッチランは、このチャレンジともいえる動きに向けて、初めは教育者のネットワーク構築を非公式な形で行っていた。その後、2017年9月にUKパーマカルチャー協会のメンバープロジェクトの一部として、IPENを設立した。IPENは、世界中に渡ってパーマカルチャー教育の団結と効果を広めることを目的に活動中。IPENの活動グループは、現在グローバルで活動し、新しい教育のリソース作り、デモンストレーションプロジェクトの支援、教育者のトレーニング、新しい授業やモデルカリキュラムの開発、そして多言語に渡ってパーマカルチャーの教育リソースを共有するなどの取り組みを行っている。</p>	イギリス

Established Projects賞（賞金各2万5,000ポンド / 約350万円）

5年以上実績があり、周囲に影響を与えている先駆的なプロジェクトを対象に、2万5,000ポンド(約350万円)を最大2つのプロジェクトへ授与。賞金はそのインスピレーションを更に広げるアウトリーチやメンタリング、研修や訪問受け入れなどに使っていただけます。

カテゴリー	受賞プロジェクト	国
Established Projects 賞	<p>Center for Justice and Human Rights in the Atrantc Coast of Nicaragua (大西洋岸ニカラグア公正と人権センター)</p> <p>2003年に設立されたCEJUDHCANは、先住民の土地の権利の主張、ニカラグアの大西洋岸のコミュニティーのサステナブル(持続可能性)な土地管理を促すために活動をしている。CEJUDHCANは、先住民が自分らの土地を法的に管理できる権利の獲得を行ったチームとともに活動していた。ミスキート族は、武装した入植民から頻繁に攻撃を受けていた。多くの先住民は、自分の住む家に近い場所で農作業を行っていた時も身の危険に脅かされていた。CEJUDHCANはミスキート族の女性たちに、家に近い小さな場所で安全に農作業を行えるためにバイオインテンシブ農業のトレーニングを提供。アグロエコロジーのトレーニングや資料は、国内や国際法廷で戦う彼らのために、先住民が彼らの土地にいながら、食料の安全保障を与えている。</p>	ニカラグア
Established Projects 賞	<p>Sustainable Organic Integrated Livelihoods (持続可能な有機統合生活)</p> <p>SOILは、ハイチの人々の生活を向上させるために、生態学者や人権活動家が2006年に集まって編成されたチーム。総合的なアプローチを取り入れたSOILの活動は同時に、破壊された社会や自然環境を回復させている。EkoLakayは、現在成長途中である、家庭衛生の向上を目的としたSOILの社会的事業。顧客は、手ごろな利用料を毎月払うことで、ごみの収集とメンテナンスのサービスが受けられる。SOILのトイレから出るすべてのごみは収集され、安全な肥料に変わる。SOILの活動は現在ハイチ国内に留まっているが、最終的なゴールは、公衆衛生が資源を生産し、生態系を回復させ、団結力を強化し、生活基盤を確立し、人々の健康や回復力を促すことを証明すること。</p>	ハイチ

Influence賞（賞金各2万5,000ポンド / 約350万円）

政策提言やロビー活動、キャンペーンの展開に従事する組織を対象に、1団体へ2万5,000ポンド(約350万円)を授与。賞金は、活動の継続のために使っていただけます。

カテゴリー	受賞プロジェクト	国
Influence 賞	<p>African Biodiversity Network (アフリカ生物多様性ネットワーク)</p> <p>ABNは、政策に影響を与える“アフリカの団体”として、1990年代後期に設立され、2010年にはケニアでトラスト登録。アフリカ12ヶ国で活動する36のパートナーがおり、Alliance for Food Sovereignty in Africa (AFSA) など、地域にとって重要なイニシアチブを多く育ててきた。アフリカのリーダーシップのあり方を変えるために活動を広げ、生物や文化的な多様性を促し、生態系そして社会的な正義のために活動。交流プログラムやトレーニング、そして権利、政策、法律を強化するために知識を共有することで目的に向かっている。彼らの活動の中で特に焦点を当てていることは、アフリカ中の先住民や地域コミュニティーのエンパワーメントを促すことで、バイオカルチャーの多様性を蘇らせ、神聖な自然遺産や領地 (SNS&T)の保護を実現させることである。</p>	ケニア
Influence 賞	<p>Amrita Bhoomi Peasant Agroecology Centre (アムリタブーミアグロエコロジーセンター)</p> <p>アムリタブーミは、農家のためのアグロエコロジー・トレーニングセンター。インドの農地改革や環境保護問題を解決するために2013年にインドの農民によって設立された。現在、多くの農地土壌や食べ物の汚染、地下水そして生物多様性が、石油の依存や科学物質を使用した単作農業によって失われている。社会面でも問題が多発していて、多額の投資が原因で背負ってしまった借金に苦しむ農家が多く、自殺率も上がっている。アムリタブーミは、Zero Budget Natural Farming (予算ゼロの自然農業)のトレーニングを農家に提供することでこのような状況を改善しようと取り組んでいます。この農業法は、地域の農業生態学に基づいたもので、外部の投資は不必要で、わずかな水の使用で済み、更には自然にまかせて農業が行える方法。特に若い世代が多く関わり、種の保護や配布、そして気候変動への適応にも取り組んでいる。</p>	インド

ラッシュとは

LUSH(ラッシュ)は、英国生まれのフレッシュハンドメイドコスメブランド。創立以来、新鮮さとオーガニックにこだわった、採れたてのフルーツや野菜、香り高いエッセンシャルオイルを使い、一つひとつ手作りしています。また、原材料は地産地消にこだわり、可能な限り国内で入手し、全ての製品をキッチン(神奈川県の製造工場)で生産し、フレッシュな状態でお客様に商品をお届けしています。

また、ラッシュは、人・動物・環境に配慮したビジネスを展開しています。化粧品の動物実験廃止や、容器のリサイクルはもちろん、ゴミをゼロに近づけるためにプラスチック容器や包装を必要としない固形商品の開発など、ビジネスを通して社会に存在する様々な課題の解決を目指し、持続的な取り組みを推進しています。

現在ラッシュは世界49の国と地域に930店舗以上を展開し、日本では約90店舗を展開しています。